

## 二次予防事業対象者アクティビティ教室（健康つみたて教室）参加者のその後

平成18年度より「生活機能評価」にて医療機関による特定健診の受診者から二次予防事業対象者（平成18年度当時は特定高齢者と呼ぶ）の把握を行い、平成24年度からは「介護予防チェックリスト」により郵送にて町内65歳以上の全高齢者から二次予防事業対象者の把握を行っている。（※二次予防事業対象者とは、生活機能が低下していて介護が必要となる恐れのある65歳以上の高齢者のことをいう。）

また、選定方法について平成18年度当初は特定健診と同時のため医師の判断によるところが大きかったが、平成22年度からは基本チェックリストによる選定方法の全国共通化が図られている。二次予防事業対象者の把握数は次に示すとおりである。

年度	対象者数
平成20年度	245人
平成21年度	587人
平成22年度	418人
平成23年度	610人
平成24年度	1,621人

※平成24年度からは郵送による全員調査のため回答者が増え、対象者も増加している。

二次予防事業対象者に対し、要支援・要介護状態になることを予防するため、「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の維持向上」「閉じこもり・うつ・認知症予防」のプログラムを複合的に行う教室を3ヶ月1クールにて年3回開催している。平成24年度より定員を25名に増やし（平成23年度までは20名）募集を対象者に対し個別に郵送にて行っているが参加者は伸び悩んでいるのが現状である。対象者の参加人数は次に示すとおりである。また、定員に対しての余裕人数はフォローアップ対象者として過去の当教室参加者に対し募集を行い参加を募っている。

年度	教室参加者人数	二次予防事業対象者に対する参加率
平成20年度	28人	11.4%
平成21年度	22人	3.7%
平成22年度	50人	11.9%
平成23年度	36人	5.9%
平成24年度	49人	3.0%

二次予防事業対象者は介護状態になる事を予防するため教室に参加をする。参加後の介護状態がどうなったかは次に示すとおりである。

実施年度	教室参加者年数経過後の要介護状態になった者の数 ( )内は要支援者の人数(再掲)							
	1年後		2年後		3年後		4年後	
平成20年度	4人 (4人)	14.3%	8人 (5人)	28.6%	11人 (6人)	39.3%	12人 (5人)	42.9%
平成21年度	4人 (4人)	18.2%	4人 (2人)	18.2%	4人 (4人)	18.2%	—	—
平成22年度	4人 (2人)	8.0%	8人 (6人)	16.0%	—	—	—	—
平成23年度	5人 (3人)	13.9%	—	—	—	—	—	—
平成24年度	—	—	—	—	—	—	—	—

※要介護状態になる恐れがあるものに対し1年経過後も要介護状態になることを抑えられている。%は要支援者も含む。

※年度別に集計。